

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 14日

事業所名 神原障害児デイサービスセンター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	・児童発達の部屋を決めて適切である。	
	2	職員の配置数は適切である	8	3	・有資格者基準を満たしている。 ・安全に配慮し、1対1で対応している。	・児童障害等の資格職員が欲しい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	2	・全体的にバリアフリー化している。 ・障害の特性を把握し支援している。	・児童の身体的特徴や障害特性に配慮された設備が不十分な為、快適で安全とは言い切れない。 ・児童発達に合わせて安定感のあるベッドや椅子等に改善すべき。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1	・清潔に務め、清掃は毎日行い、 トイレ、玩具、手すりの消毒を行っている。	・未就学児を受け入れるにあたっての用具や備品がもう少し整うと良い。パイプ椅子以外の椅子等。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	1	・定期的に職員会議を行い、職員間で協議検討を行なっている	・目標設定、振り返りの機会は定期的にされているが、認識や理解に違いがある為会議での徹底が必要。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1	・事業所自己評価や事業所のアンケートを通して保護者の意向を把握改善に努力している。	・評価は実施しているが、すべては業務改善になっていない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0	・法人ホームページにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	6		・第三者評価委員会なし。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	1	・外部内部で必要な研修を定期的に開催。利用者理解を深める研修に取り組んでいる。 ・年に2回個別支援計画作成時、更新時に保護者との面談を行い、利用者保護者のニーズを聞き取り作成している。	・利用者理解を深める研修の他に接遇等にもとりくみ、理解が浅い場合は回を重ね時々にお互い注意している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 14日

事業所名 神原障害児デイサービスセンター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1	・利用者台帳を作成している。 ・ツールは無いがケアプランに問題点を記入している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	2	・ガイドラインに沿った支援内容を設定している。 ・保護者と話し合い個々に応じて支援内容にしている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0	・日々支援計画書を確認しながら支援をしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	・担当職員がまず行い、後チームで検討している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	・処遇会議で話し合い取り組んでいる。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11	0	・療育活動の中に個別集団を意識し、個別支援計画書を作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	・朝礼にて職員間で情報を共有し、支援内容、担当者を確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	・朝礼や終礼時を利用し、職員間で支援をの振り返りを行い情報を共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	・ケース記録に記入し支援の検証を行い改善につなげている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0	・職員間で話し合い、計画見直しが必要かどうか判断している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 14日

事業所名 神原障害児デイサービスセンター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1	・ケアプラン支援担当者が参画している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	3	・相談支援者と連携している。保護者を通じて行う事が多い。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	3	・医師指示書が必要であれば、記入をお願いしている。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	3	・保護者を通して行っている。(直接的ではない)	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	2	・相談員と連携して必要であれば、問い合わせで解答を得ている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	2	・相談支援員、保護者を通して行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	2	・発達障害支援センターから講師を招き研修を行っている。	・専門機関との連携が欲しい。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	8	・地域の公園にて一緒に交流することがある。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	5	・自立支援協議会出席者から情報提供してもらっている。	・機会があれば参加してみたい。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 14日

事業所名 神原障害児デイサービスセンター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	・送迎時や来苑時、電話等で情報を共有している。	・日常の報告だけでなく、自宅や学校での様子等も細やかに聞き、新しい情報と共に更新していけるよう朝礼等で共有を意識。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	6	・保護者から相談あれば、職員間で検討し対応している。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	・契約時に丁寧に説明している。問い合わせがあった時には、都度対応している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0	・支援計画書を作成し、保護者へ同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	・保護者から相談あれば、その都度職員間で話し適宜行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	2	・家族会や保護者参観等で保護者同志の連携を支援している。	・保護者参観の開催はされたが、参加者がすくなく、アナウンスの仕方や日程、内容を再検討したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	・相談内容は職員間で共有し、管理者も含め検討の場、時間を設け対応するよう心掛けている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	・広報誌「てとて」家族会「ひだまり」を発行。 ・連絡帳を利用している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0	・職員から誓約書を取り、定期的な研修を行っている。	
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	・視覚的支援を積極的に活用。		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 14日

事業所名 神原障害児デイサービスセンター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	5	・神原苑まつり開催。地域住民とのふれあいの機会を設けている。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	0	・避難訓練は年2回、感染症は時期に合わせて研修、苑だよりを利用し周知している。 ・看護師が感染症マニュアルを作成し貼り出している。	・職員間ではできているが、保護者への周知はもっと必要に感じる。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	1	・年2回、避難訓練、防火訓練を定期的に行い、経路確認をしている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	0	・利用契約時に保護者から情報提供してもらっている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1	・保護者からの指示書にて対応。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	・職員間で情報共有、対応者を協議検討している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	・定期的に研修を開催。外部研修への参加、内部研修への開催を行っている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	1	・個別支援計画を作成、更新時に保護者に同意を得て記入。	